

【校 則】 Be Gentleman 紳士であれ

アメリカの教育者・クラーク博士が、1876年（明治9）、開校したばかりの札幌農学校（現在の北海道大学）に初代教頭として着任した際、「規則で人間をつくることはできない。この学校に、校則はたった一つあればいい。」と言って定めた校則。本校の校則でいう「紳士」とは、男女に関係なく、知性に富み、礼儀正しく、思いやりにあふれる人のこと。

【誰もが快適な学校生活を送るための留意点】

●社会に出ても必要とされる「あじみこし（挨拶・時間・身だしなみ・言葉遣い・姿勢）」について

挨拶

誰に対しても自分から気持ちよい挨拶をしましょう。

時間

集団生活において、時間は必ず守りましょう。

身だしなみ（髪型・服装等）

清潔感ある身だしなみ、学習の場にふさわしい身だしなみ、安心・安全を最優先した身だしなみをしましょう。

言葉遣い

時や場所や相手に応じた言葉遣い、美しい言葉遣い、人の心を温めるような言葉遣いをしましょう。

姿勢

授業中や食事中、人の話を聞くときなど、時や場所や相手に応じた正しい姿勢をとりましょう。

●学校に持ってきてよい物について

令和元年度、生徒の皆さんの意見も取り入れて、新たな教育目標【学ぶ・鍛える・思いやる】を制定しました。学校に持ってくるものは、その教育目標を達成するために必要なものだけにしましょう。（それ以外のものを持ってきたときは、先生方に相談してください）